

FAX (〇三) 三四四七一〇七三六丁EL (〇三) 三四四七一一四八一丁BL (〇三) 三四四七—一四八一一十二十二十四東京都港区高輪——五一二十二発行 松寺建造物美術協議会 紹介年十月二十六日発行

第八回

総会並びに研修会報告社寺建造物美術協議会

年代のて頂きました。 無台を兵庫県に移して、九月 十八・十九日の二日間開催いたしました。 今回は特に大谷金工部会長に 肝入りをお願いし総合プラン にしました。

九月十八日(水曜)の午後、阪神電鉄尼崎駅に集合。建造物の見学研修として、重文本興寺開山堂及び重文長遠寺本堂他を訪れ、脚文化財建造物保存技術協会(以下、文建協と略称します)から派遣されておられる福本都治所長のご案内を頂き、昨年一月十七日の兵庫県南部地震災害の影響の兵庫県南部地震災害の影響による被害状況を現場でつぶ

て果をすごは異なる程となるに見学し、所長のご説明を

本興寺方丈は解体修理となり揚屋工事を進めているところで、方針としては文化財としての意義と構造的に耐震としての数字のかね合いを考えているとの由、柱は補強するために新素材の炭素繊維と矧木を、内法壁は耐力合板(構なに、特に眼に見えない箇所で、特に眼に見えない箇所でで、特に眼に見えない箇所でで、特に眼に見えない箇所でで、特に眼に見えない箇所でで、特に眼に見えない箇所でで、特に眼に見えない箇所でないる、という非常に詳しいごるそうです。開山堂は主としるそうです。開山堂は神後と知れる、という非常に詳しいご説明を頂きました。

本興寺から少し離れた長遠

場の他に、旧神戸居留地十五

象についてのお話を承りまし

殊に今回研修対象の三現

修と詳細なご説明を頂きまし 土台とかの修正などの見学研 るなどの被害があり、上層の 重文の多宝塔は相輪が傾斜す 特殊釘を使用するそうです。 れたり、長押の取り付け方で 理ということで耐力合板を入 暇がありません。兵庫県指定 倒れたりねじれたり、縁束の 文化財の客殿も含め、部分修 内転び、柱の歪みなど枚挙に た。本堂外部の上長押が三間 の損壊の状況を伺い驚きまし 寺は本堂の破損がひどく、 も前側にはずれ飛び、 建具は

披露頂きました。

とっても有難いことです。

> 新しく塗り直し面目を一新。 を行いました。丹途・彩色は 強度のある建物にし、 倒壊が防げたという観点から のです。この対策として覆殿 横に転び、本殿を押し潰した 地域で震度七の激震でした。 た各部分の素晴らしい姿をご したとの事で、被害から甦っ 態に復旧し彩色見取図も作製 のを取り払い、嘉永六年の状 尚、彩色は明治二十八年のも 床下部分などを補強する施丁 がしっかりしていたら今回の 神社では本殿の覆殿が大きく 神淡路大震災は、八幡神社の 本殿も

総会及び親睦会会場の宝塚 総会及び親睦会会場の宝塚 での会議室で「第八回社寺建いで過し、午前中は同ホテルで会員一同は研修の疲れを寛 がランドホテルは温泉付の宿

の入会につきお勧めを頂きまの入会につきお勧めを頂きま明があり、資料を基にお話を組みと活動について縷々ご説藤佐雅夫様から、全文連の仕と略称します)事務局長の後財所有者連盟(以下、全文連別があり、資料を基にお話を報った。

機関も力を入れられるとの由 でこの取組方とか、重労働の がありました。特に国内産の 地の状況、低収入、需給状況、 状について(植栽の人材、植栽 で、我々材料を使う業者側に た。この漆生産について関係 い点などのご指摘がありまし が)、企業として合理化が難し 割に低収入(価格の点もある 採取可能な場所が限られるの 変盛り上がって来ていること。 対象となったので、気運が大 産組合が国指定の補助育成の 漆の生産量の多い岩手県の生 価格等)種々調査されたお話 した。又、日本の漆生産の現

察して廻られた時の無残な印 学して廻られた時の無残な印 を詳細なご説明と、現場を視 を詳細なご説明と、現場を視 を計細なご説明と、現場と、大 による全体的な被害状況につ による全体的な被害状況につ による全体的な被害状況につ による全体的な被害状況につ による全体的な被害状況につ

番館

- マス住宅、西で - ロハンター

西宮神社表門

住宅、

事です。 助率に嵩上げして対応し、国処置も通常の修復に対する補 災文化財等救援委員会」を設 庫補助を行っておられるとの 開始された訳です。 置、文化財レスキュー事業を 財政支援

心から御礼を申し上げます◆ ◆有益且つ実りある講演を頂 た後藤局長・工藤参与には



研修会の

入会希望の法人については後

総 会 会 議 録

平成八年度見積積算資料 について

予定の工法などについても有

大練塀の被害の状態と復旧の

益なお話を伺いまし

た。

○今年度文化庁建造物課、 文化財建造物保存技術協会 (財)

保全するために、

文化庁施設

に被災した文化財等を緊急に

地震から一ヶ月経たない内

○彩色単価の再検討として、 ○配布先はほぼ例年どおり。 道玄社長が伺った。 と会員代表として何さわの への説明と請願は小西会長

 \bigcirc

協力の下に「阪神・淡路大震 団体・府県教育委員会の連携 等機関及び文化財・美術関係

○平成九年度原稿は年内に締 ○単価と共に仕様も書き入れ る方向を検討してみては。

二、会報「すいかずら」につ 月配布を目途に作成する。

○配布先……文化庁建造物課 送付するようにしたい)。 化財保護課 奈良・京都・和歌山・大阪 盟顧問、同役員、同事務局: 国国宝重要文化財所有者連 同各現場所長、 会本部、同各地方事務所 **劍文化財建造物保存技術協** 滋賀他約二十五の各県文 (今後は全国へ 監督、 (社) 全

入れる。 剥落止め及び補筆の単価を 五

三、新規会員について

求める準備を行いたい。 日その資料を各会員にお送り し、入会の承認につき諾否を

(事務局)

今後の活動計画

定。)「すいかずら」第四号の子の報告と前回の未掲載分。 として座談会を持ちたい。 実地研修及び総会について 内容として今回の現場 内容は金工部門特集号 かずら」第四号の予 かずら」第三号の発

○次回総会予定 浅間神社など中心に)。 静岡県方面(久能山東照宮)

○欠席会員は同封の収支報告 収支報告

会費は継続して五万円、 月に徴収。 参照のこと。 几

※特記事項 事務局より説明があり了承。

者連盟より当会の活動に対 社全国国宝重要文化財所有

******* * 受章されました。栄えあ* この度、会員の㈱さかい 金壱封をお送りいたしまるご受勳を祝し、会より うございます。した。まことにおめでと

六、その他

㈱小西美術工藝社等

○文化庁からの意見として見 二点は欠かさず継続し、

○出来るだけ通常総会への会 にとのこと。

日日

計画実施

れたものの三回目で今回が最 選定保存技術である **朗日光社寺文化財保** 計四十時間の時 文化財の保存 技能者の養 「建造 実習

六、そりも 局長のご指導による)。

積積算資料及び会報のこの

員の参加をお願い

間割で、 技術保持者・吉原昭夫講師にの六日間、建造彩色選定保存 成八年九月二日より七日まで 存会研修棟で開催された。平 事業の技術の向上を図る意味 三十四時間、 終となる。見学六時間、 で過去二ヶ年の間に二回行わ 成研修を行い、 物彩色」に関し、

研究所、 て、明日光社寺文化財保存会、よって実施され、技能者とよ **侚齋藤漆工芸、㈱文化財工学**

技能者とし

外的にもアピールするよう 対

(この項 終わり) したい

中級は新規に平成八年度 養成は第三年目(最終回)

が交付された。 われた。今回を以て完全閉講 具下・岩絵具掛けの実習が行 目・六日目に着彩の内の岩絵 四日目に運筆技法を挟み五日 理施工の見学が行われ、 から十一名が受講した。 したので各技能者に「修了証」 目から三日目にかけ着彩技法、 開講式の後、 建物の彩色修



(彩色研修教材から)

藤卯乃・森田豊、 初太郎、侑齋藤漆工芸から齋 漆工業から岸野寛文・早乙女 から列記すると、 議会からの参加は研修生名簿 級研修会の照会があり、 名で平成八年度彩色技能者中 理事長(日光山輪王寺門跡) 社寺文化財保存会・鈴木常俊 技術保持団体として、 文化財建造物彩色選定保存 角川面美術 株 岸 野 美 術) 別 日 光 当協

美術工藝社から北山彦男・鷹の道玄から笹原聖子、㈱小西研究所から吉田桂子、閉さわ 週は十二月九日から十四日の 月二十一日から六日間、第二 加した。第一週は平成八年十 化財保存会から田村洋一が参 觜幸則などで、 研究所から吉田 赋日光社寺文

8. 10. 26

られる。 存会研修棟を会場として進め 間であり、養成研修と同じ保 実習六十八時間、 容は見学六時間、 予定で進められる。 講義十時間、 計八十四時 今回の内

(この項続く)

特集記事

胡 粉 に つ (1 7

㈱放光堂 代表取締役 石田 善也

塗りに、

カルシウム入りと断

のではない。

例えば人形の上

み使用され、製造されている 胡粉は日本画の絵具としての

貝の殼の粉末である。言えば「胡粉」、胡粉と 「えば「胡粉」、胡粉と言えば日本画に於ける白い絵具と

すいかずら 第3号

ろう やはり主流は「貝胡粉」であ いるが、これは近年のこと、 「岩胡粉」と稱し使われては 他に水晶や方解石の粉末も

み進むと「胡粉」即ち胡の粉、 実に紛らわしい。もう少し読 で作る「鉛白」も胡粉と言い、 然し古い書物には鉛を焼い の粉は鉛白のことであって貝 胡とは奈良時代シルクロード の品を指す。「胡麻」「胡椒」 をはるばる運ばれて来た異国 「胡瓜」と同じ胡、 この異国

> になっていったらしい。 い絵具を全て胡粉と呼ぶよう である。又その後日本では白 なって行ったのは尤もなこと の間にか「貝胡粉」が主流に に入り易いではないか。 に囲まれた日本では原料が手 れることもなく、 の点貝の粉ならば他に影響さ で鉛白は黒ずむであろう。 われば「朱」に含まれる硫黄 価格も高かろう ではなかったのである。 その当時の渡来物と言えば し、「朱」と交 又何より海 そ 0

のを待つ。 貝殻を風雨に晒し風化す 有機物の自然分解

(3)

や石、その他の不知の一句である。 その後 除き粉末にする。 その他の不純物を取り その後貝殻の表 硬質の部分

えるが、 性も大きな問題として残る。 具」に対し少々の拘りを持っ 白い塗料としてなら十分つか 柔らか味のある白と膠との相 ている)。あの「胡粉」独特の 粉」になるかと言う所にある これだけで絵具として い貝の粉末にはなる。これは (私は絵具屋であるから「絵 この作業を確実に行えば白 私の重視する点は、 0) 一胡

胡粉は京都・宇治で造られて

カ所かあるが、

絵具として

0

現在日本で胡粉製造所は何

るだろうか。

いる品がよろしいと聞く。

只

元来不秀月~~んど水分を感じさせない。 例えば、 今降ったばかりの雪が軽やか又くっきり白い部分もある。 根を広げている、細かくふる 名画を思い出して頂きたい 料である。然しここで古今の に笹の葉の上に積もっている。 える羽根の先は透明である、 本来胡粉は不透明な白い顔 白の孔雀が大きく羽

粉」について、

貝の種類・製

くとして、ここでは絵具の「胡

他の用途の詳しいことは置

しても多量に使われている。 りのある食品に、又漢方薬と

明な白を、 が混然一体となって生み出さ 技術に加え、 れる技に酔い痴れるのである。 を描き切る技術。我々はその この上質の胡粉を造るのに 時には軽やかな白 上質の胡粉と膠

であり、

広島等でお馴染みの

ずっと幅広、平ら、

は我々が日頃食する牡蛎より の貝殻を使っていた。この貝

なく完全な天然産で

「マガキ」と違って養殖では

最高級品を造る。これこそ日 あったのだ。 本画絵具の「胡粉」の原料で に大きく肉厚のものを選んで ものができる。その中でも

ないだろうか。本によっては

どんな貝でも良いとは考えに

くい。貝の種類は問題になら

例をよく目にする。果たして

蛤」から上質の胡粉ができ

「蛤粉」と書いて胡粉を指す

と聞いたのだが、 な白が出ないと言う。 末にしても胡粉の持つ柔らか 方「蛤」は貝自身が硬く、 すく白い部分が少ない。どうた。結果、「マガキ」は殻がう 手に入り易いのではないか。 どうか、養殖されているから 聞いた。では「マガキ」では 水の汚染から生息する量が減ている。残念なことに近年海 ている。残念なことに近年海山の様に積まれ天日に晒され しても黒味が出てしまう。 今はこの 現在ほとんど入荷せぬと から良質の品ができる 「イタボ牡蛎」が と問うてみ 粉

はどうか、 は、漆はどうなのか。筆の毛 と聞く。紙の原料の楮・三椏い。近年良質の木材も少ない ったのである。 されて行く光景がここにもあ 代文明の進歩に脆くも押し潰 便利とスピー なり育んで来た日本の文化が 機と言っても過言ではあるま ピンチである。日本画の危 天然自然と一体と ドを優先する近

ガワ胡粉」では「イタボ牡蛎」え、原料の貝について「ナカ

間違っていなかった。

とは言

ワ胡粉」にご教示願った。 造方法等々を宇治の「ナカガ

果たして私の知識はそれ程

る感覚がある。

代表者名

〒537

〒616

〒108

〒615

〒604

₹171

₹933

勲

登

清

晃 **〒933**

昭 ₹933

大谷秀

川面稜-

黄地耕造

齊藤敏彦

澤野道郎

鈴木重信

田村貫

平尾伝治

安達譲治

細川夫美子

米田

岸野

原

酒 井

堂

()

社 稲見

シ

工 (有)

平成 8 年10月

06-971-6571

06-971-6511 TEL. 075-464-0725

TEL·FAX番号

FAX. 075-464-0099 TEL. 0288-54-0072

FAX. 0288-53-3366 TEL. 0749-45-0003

0749-45-0505 03-3447-1481 03-3447-0736 0288-54-1198

0474-91-8712

FAX. 0474-91-9046 TEL. 0775-87-1178

FAX. 0775-87-5355 075-391-6673

FAX. 075-391-9951 TEL. 0288-53-1121

FAX. 0288-54-3263

TEL. 0766-25-1139

FAX. 0766-25-5231 TEL. 054-278-8767

FAX. 054-277-0988

TEL. 075-231-2580

TEL. 03-3988-3471

FAX. 03-3980-3291 TEL. 0766-25-5800

FAX. 0766-25-2497 TEL. 078-997-7178

FAX. 078-997-7179

「社寺建造物美術協議会」名簿

住

〒321-14 栃木県日光市御幸町587

〒321-14 栃木県日光市山内2365

〒321-14 栃木県日光市東和町62

〒421-12 静岡県静岡市羽鳥731-4

〒527-01 滋賀県愛知郡湖東町大字長273

東京都港区高輪1-5-22

〒270-14 千葉県印旛郡白井町大山口1-19-2

京都府京都市西京区上桂宮ノ後町73-2

京都府京都市中京区御幸町二条上ル

兵庫県神戸市西区井吹台東町1-5-13-301

〒520-23 滋賀県野州郡野州町小篠原7-1

富山県高岡市赤祖父94-1

東京都豊島区高田1-36-22

富山県高岡市赤祖父548

所

大阪府大阪市東成区東今里2~6-20

京都府京都市右京区鳴滝本町69-2

◎編集後記◎ (五十音順)

2

3

4

5

6 (有)齋

7 (株) さ

8

(株) 金

(有)さ

(株) 青

田 村

平 尾 総 本 舗

(株) ブ

法人名(個人名)

(株)大谷相模掾鋳造所

(前)川面美術研究所

岸野美術漆工業(株)

(株)小西美術工藝社

漆 虅

か

(有)鈴木錺金具工芸社

銅

漆

(株)北陸銅器製作所

㈱細川社寺巧藝社

わの道玄

I 芸

事

りを眺め、 て来る不況の谷間。

に長いトンネルをくぐってい さまと同様に業界も波をかぶ 十年間位のサイクルで廻っ 今度はちと違うぞとあた 今までにない異様 無論世間

絶対量が不足している・営業 は業績が上がらない。 経営の一つの権利と義務にな

とかんがえているが決意程に ささやかでも法人税の納付を 文化財の仕事を頂くのだから、 受けている(地方自治体も) った事は事実。国費の補助を 受注の だ。 0

さんの苦言が耳に痛 民間の活力が落ち込んでい いし、 体

るのはまぎれもない事実。

に出て来る様じゃかなり重病 益分岐点のガイドラインが夢 イドのムダをなくせ・作業面 能率を考えろ等々、 税理士 現場サ 損

働いている人はそれぞれが納 実際にはどうか、 ない季節のうつろいである。 得出来るか、理屈で判っても ラに踏み切るか、 悩みは盡き

ら悪い様にするか、どうか、 面を改善したが、悪くなった 業績の良い時は良い様に給与 力が低下するのを承知でリス 否か、又

とか乗り切りたいものだ。 月並みだがお互い頑張って



